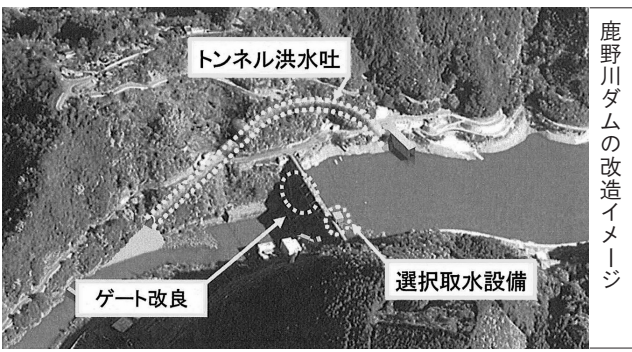


設計に着手する予定と伺っています。

トンネル洪水吐きによる冷水の放流と底泥の流出については、曝気装置による貯水池内のかくはんにより、トンネル洪水吐きの呑み口の高さの水温を表層に近い水温に改善することで対応すると伺っています。また、底泥の流出については、ダムの河床より10メートル程度高い位置に呑み口を設置するとともに、呑み口部の導水路についても周囲の底泥を引きこまない構造とすることで対応が可能と考えられています。



## 期日前投票所の拡充

**問** ショッピングセンター等への設置について

**答** ショッピングセンターなどへの設置については、

全国では有権者の数が20万人から30万人程度の大きな都市でその取り組みがなされていますが、投票所を設備する際には新たに選挙用の基幹系システムの導入が必要となり多額の経費が生じることや、仕切り板等で区切った簡易な施設であるため、店内放送等が流れ、投票所内の静穏が保たれにくいなどの実情があるようです。また、投票率については、期日前投票者は増加したというのですが、最終の投票率にはほとんど変化が見られないようです。当市においても投票率のアップは重要な課題と認識し、現在、期日前投票所を本庁と各支所合わせて4カ所設け、また、選挙当日は合併前と同じく投票所を50カ所設置し、選挙人の利便性を図っているとところで、期日前投票所の拡充については、多額の経費も予想

されることなどから、今後県内の拡充状況等を注視していきたいと考えています。

## パナソニック四国 閉鎖関係

**問** 今後の市の取り組みについて

**答** パナソニック四国大洲工場については、3月

27日に10月末をめどに閉鎖すると発表をされ、従業員約500人については東温工場と西条工場に配置転換されるというのを伺っています。現在、労使交渉が行われている状況で、実際にはまだ異動はしていないということのようですが、5月11日に東温市のパナソニック本社工場を訪ね山根社長に存続を強く要望し、また、同日県庁へも参り加戸知事にバックアップを強くお願いしたところです。

当市では、10月末に撤退するという最悪の事態も想定しておく必要があることから、副市長をトップにした企業誘致対策会議を設置し、撤退した場合の跡地利用、新たな企業誘致等も含



閉鎖の発表があったパナソニック四国大洲工場

めてさまざまな対応策を検討しているところです。5月7日には第1回目、22日には第2回目を開催したところですが、当市への立地企業に対する条件面でのメリット、デメリットを洗い出すなど、今後も定期的に開催していく予定です。



## 河辺診療所

**問** 歯科診療の再開について

**答** 内科はここ数年の平均で収支均衡がとれている状況ですが、歯科については平成16年度以降実質収支が赤字になるなど、診療所経営を圧迫する状況であったことから、やむなく平成19年4月末で休診することとしたものです。この間、

内科については存続を求め、要望書の署名活動や、医師の歓迎会を地域住民が自主的に行うなど、診療所を残したいとの思いが利用促進と収益の向上につながっているものと考えています。また、内科医師の丁寧で献身的な診療も大変好評であり、平成20年度においては患者数、診療収入が増加した要因の一つとなっています。

当診療所としては、厳しい財政状況ですが内科診療を中心に経営の健全化に取り組んでいるところであり、歯科の再開により財源不足が拡大し、診療所経営を圧迫することも懸念されるこ